

i-Catch Liner

アイ・キャッチライナー

型名： IPD-003-XXL シリーズ
(LAN、USB メモリ仕様)

IPD-003-01L ~ IPD-003-16L

操作マニュアル



お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

ご使用の前には、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

もくじ

・ もくじ	2
・ 製品概要	3
・ 基本操作の流れ	3
・ アプリケーションソフト「iCL Editor」のインストール	4
・ 表示ユニットデータの作成、編集	5
・ アプリケーションソフト「iCL Editor」概要	5
・ アプリケーションソフト「iCL Editor」起動方法 通常モード・RSS+ モード選択	5
・ アプリケーションソフト画面説明	6
・ オーバービューの拡大機能	7
・ パネル設定（表示ユニットの連結数設定）、隙間設定	8
・ 表示ユニットデータ編集モード指定 ～編集モード～	9
・ 表示ユニットデータの作成、編集 ～データ入力～	10
・ 表示ユニットデータの作成、編集 ～アクションの選択～	11
・ 表示ユニットデータの作成、編集 ～マルチパネル通信モードで複数台同時登録する場合～	12
・ 表示ユニットデータの作成、編集 ～追加・入替・削除～	13
・ 表示ユニットデータの作成例	14
・ 画像データの作成方法例、iCL Editor への登録	15
・ 表示ユニットデータの書出し、本機への登録	16
・ 表示ユニットデータの書出しモード選択	16
・ USB メモリーモードによる表示ユニットデータの本機への登録	17
・ パネル通信モードによる表示ユニットデータの本機への登録	18
・ マルチパネル通信モードによる表示ユニットデータの本機への登録	19
・ マルチパネル通信モードによる表示ユニットデータの本機への登録 ～続き～	20
・ ニュース表示機能設定、本機への登録	22
・ ニュース表示機能について	22
・ ニュース表示機能（RSS フィーダー）設定	22
・ 表示ユニットデータ+ニュース表示機能	23
・ ニュース表示設定、表示開始	23
・ LAN の設定	24
・ LAN の設定 ～固定 IP アドレス設定～	24
・ LAN の設定 ～固定 IP アドレス設定 続き～	25
・ LAN の設定 ～RS-232 ポート設定～	26
・ LAN の設定 ～TCP ポート設定～	27
・ お問い合わせ先	28

製品概要

●「i-Catch Liner」本機 製品概要

- ・蛍光表示機使用のメッセージ電光表示機です。
- ・マスターユニット及びスレーブユニットで構成されます。
- ・マスターユニット 1 台につき、スレーブユニットを最大 15 台まで接続できます。
- ・電源は AC100V 入力の AC/DC スイッチング電源使用。本機自体は DC24V 駆動。
- ・表示内容は専用アプリにて編集可能、編集後 USB メモリまたは LAN 経由で登録を行います。
- ・専用アプリで編集した内容以外に、RSS によるニュースメッセージを取得し、配信表示させることもできます。

基本操作の流れ

表示パネルを設置

取扱い説明書を参照ください。



アプリケーションソフト「iCL Editor」にて表示ユニットデータの編集

付属の専用アプリケーションソフトにて表示ユニットデータの作成、編集を行います。

「RSS+ モード」*1 で起動することにより、RSS によるニュース表示機能が付加されます。

表示ユニットデータの作成、編集については、5 ページの「表示ユニットデータの作成、編集」を参照ください。

RSS によるニュース表示機能については、22 ページの「ニュース表示機能設定、本機への登録」参照ください。

ご注意 *1：アプリケーションソフトの起動方法が異なります。詳しくは 5 ページの「アプリケーションソフト「iCL Editor」起動方法 通常モード・RSS+ モード選択」参照ください。

表示パネルへの表示ユニットデータの書出し（登録）

USB メモリーモード

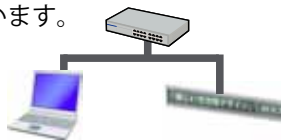
USB メモリーに表示ユニットデータを書出します。
書出した後の USB メモリーにて表示ユニットデータの書き換えを行います。



17 ページの「USB メモリーモードによる表示ユニットデータの本機への登録」を参照ください。

パネル通信モード

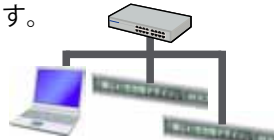
作成した表示ユニットデータを表示パネル用の専用データに変換し、LAN に接続された**単一**の表示パネルに LAN 経由で登録を行います。



18 ページの「パネル通信モードによる表示ユニットデータの本機への登録」を参照ください。
LAN 設定については 24 ページの「LAN の設定 ～固定 IP アドレス設定～」を参照ください。

マルチパネル通信モード

作成した表示ユニットデータを表示パネル用の専用データに変換し、LAN に接続された**複数**の表示パネルに LAN 経由で登録を行います。



19 ページの「マルチパネル通信モードによる表示ユニットデータの本機への登録」を参照ください。
LAN 設定については 24 ページの「LAN の設定 ～固定 IP アドレス設定～」を参照ください。

マルチパネル通信モード ニュース表示機能 *1 (RSS+ モード時)

ニュース表示データを表示パネル用の専用データに変換し、LAN に接続された**複数**の表示パネルに LAN 経由で登録を行います。



22 ページの「ニュース表示機能について」を参照ください。
LAN 設定については 24 ページの「LAN の設定 ～固定 IP アドレス設定～」を参照ください。

表示パネル

表示ユニットデータの更新

アプリケーションソフト「iCL Editor」のインストール

●アプリケーションソフト「iCL Editor」動作条件

OS	CPU	主記憶メモリ	ハードディスク空き容量	インターフェース	ディスプレイ
Windows 7 日本語版	OS のシステム条件に準じる。		100MB 以上	USB	1024x768 以上
Windows Vista 日本語版				LAN	

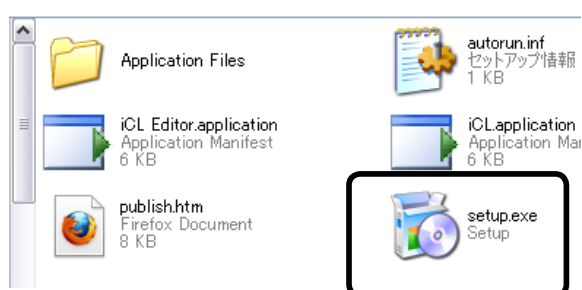
☞注意

- ・本アプリケーションソフトのインストールにはインターネットに接続されている必要があります。また Microsoft® の .NET Framework 3.5 SP1 が必要です。インストールには管理者権限が必要です。
- ・インストール後の動作には Internet Explorer 7 以上がインストールされている必要があります。

●アプリケーションソフト「iCL Editor」のインストール

ご使用のパソコンの使用環境などにより、説明内容、画面と実際の内容、画面が一致しないことがあります。あらかじめご了承ください。本書での Windows の説明は、Windows XP の画面を使用しています。

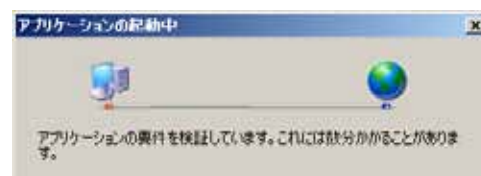
① setup.exe をダブルクリックする。



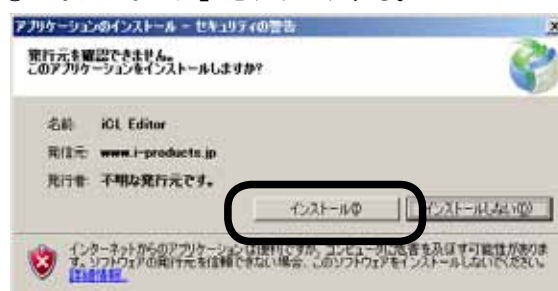
☞注意

.NET Framework 3.5 SP1 がインストールされていない場合、.NET Framework 3.5 SP1 のインストール画面が表示されますので、指示に従いインストールを進めてください。

②アプリケーションの起動



③「インストール」をクリックする。



⑤インストール完了



インストールが完了しますと、自動的に iCL Editor が起動します。RSS ニュース配信機能を付加する場合は起動方法が異なります。詳しくは次ページ参照ください。

④インストール開始



☞注意 Internet Explorer 7 以上がインストールされていないとその後の動作が不安定になります。本アプリケーションソフトは "ClickOnce" に対応しております。インターネットに接続している環境であれば、オンラインアップデートが可能となります。

表示ユニットデータの作成、編集

アプリケーションソフト「iCL Editor」概要

本機の表示に必要な蛍光表示部の文字、ビットイメージ表示の作成、設定、編集及び、RSS によるニュース配信設定が簡単に行えます。このアプリケーションソフトにて以下のようなことができます。

- ・ i-Catch Liner に登録する表示ユニットデータの新規作成、編集、保存ができます。
- ・ 文字表示作成またはビットイメージの表示選択が行え、各種アクション表示選択にてさまざまなアクション表示ができます。
- ・ i-Catch Liner に登録する表示ユニットデータの USB メモリーまたは任意の位置への書き出し及び、LAN 経由にて直接 i-Catch Liner に登録、表示が行えます。
- ・ RSS によるニュース配信が行えます。（インターネットに接続しているパソコンに本アプリケーションソフトを常駐させる必要があります。）

ご注意

iCL Editor を利用して著作権の対象となっている著作物を複製、編集することは著作権法上、個人的にその複製物や編集物を使用する場合に限られます。このような利用方法はお控えください。

また、iCL Editor において写真の画像データ、映像などを利用する場合は、上記著作権侵害をすることとなりますのでそのような利用方法もお控えください。

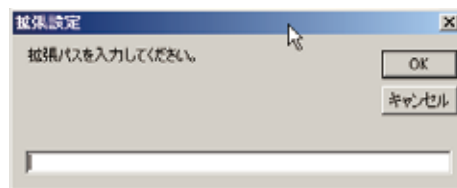
アプリケーションソフト「iCL Editor」起動方法 通常モード・RSS+ モード選択

アプリケーションソフトの起動時に、RSS によるニュース表示機能を付加するかどうかの選択を行います。

RSS によるニュース表示機能が不要な場合は、下記操作は必要ありません。

RSS によるニュース表示機能を付加する場合

- ①アプリケーションソフト「iCL Editor」を起動する。
- ②起動中、下の画面が表示されますので、表示中に「Shift」を押し続ける。
- ③「拡張設定」画面が表示されますので、拡張パス「RSS」と入力します。



- ④ Ver 表示の後に、「RSS+」と表示され、RSS+ モードとして、RSS によるニュース表示機能が付加されたことを確認できます。

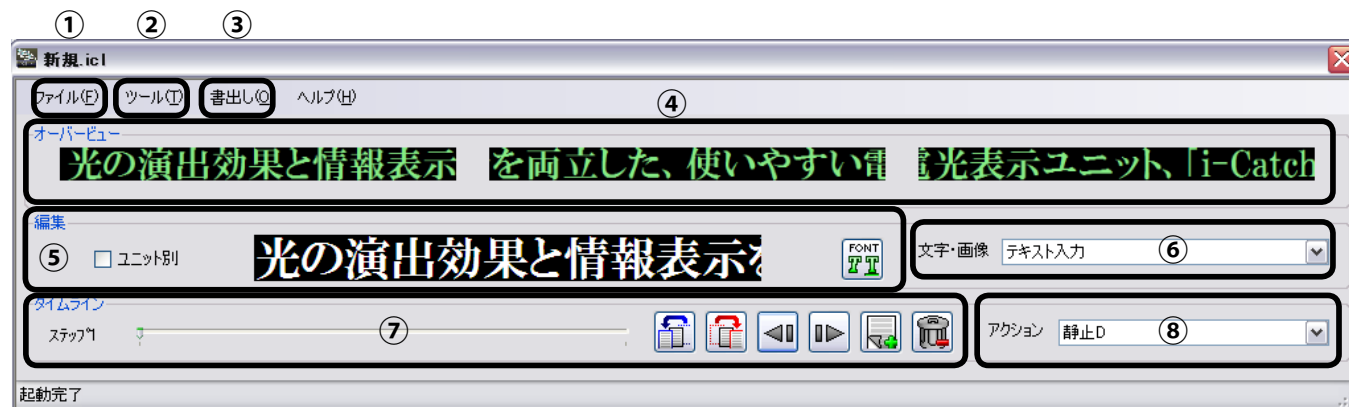


- ⑤以後は同様の操作無しでも RSS+ モードで自動的に起動します。元のモードに戻す場合は、①から③と同様の操作を行い、③の拡張設定の拡張パスに「RSSC」と入力します。

表示ユニットデータの作成、編集

アプリケーションソフト画面説明

スタートメニュー、またはショートカットより「iCL Editor」を起動してください。



①ファイル

新規表示ユニットデータ作成および保存、データの編集時に使用します。

②ツール

表示ユニットの連結数、画像ファイルの格納、通信設定、モード設定時に使用します。

③書き出し

表示ユニットデータ編集後、データの書き出しを行います。

④オーバービュー

表示ユニットデータの表示内容が確認できます。連結数が多い時などに使用できる拡大機能がついております。オーバービューの拡大機能については7ページの「オーバービューの拡大機能」参照ください。

⑤編集

表示ユニットデータの編集作業を行います。

⑥文字・画像

文字または画像の選択を行います。

⑦タイムライン

表示ユニットデータの追加、削除及び、順番の入替を行います。

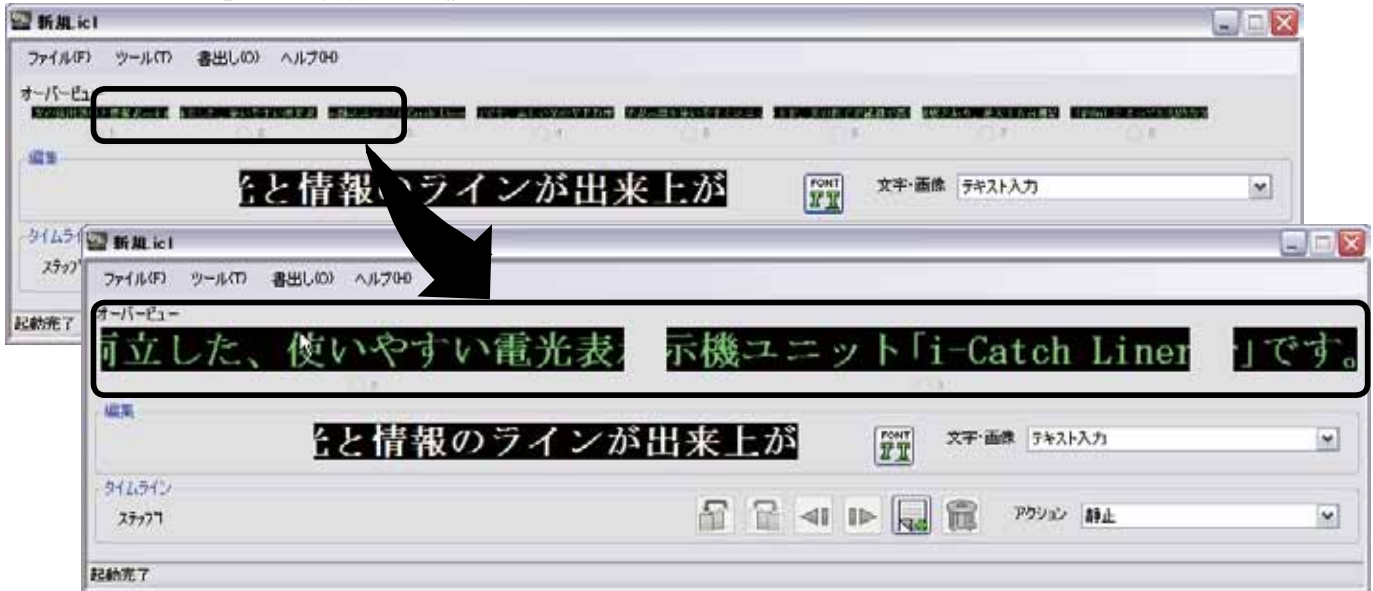
⑧アクション

各種アクションの選択を行います。

オーバービューの拡大機能

連結数が多く、オーバービューの表示が小さく見づらい場合にお使いいただける機能です。

- ①「オーバービュー」上の拡大したい部分にて、マウスのホイールを動かすことにより拡大ができます。キーボードの「PGUP、PGDN」による操作でも可能です。



- ②「オーバービュー」上の拡大したい位置でダブルクリックするとその部分が画面全体にフィット表示されます。また「SHIFT」を押しながら行いますと、左右ユニット合わせて3ユニット分が表示されます。



- ③「オーバービュー」上いずれかの位置でドラッグした状態で左右に動かしますと、表示位置を左右に移動できます。



④その他操作方法

キー操作：

「ESC」キー：元のサイズへ復帰します。

「Shift」+「ESC」：アクションを再表示します。

「HOME」キー：最左端部をフィット拡大表示します。

「END」キー：最右端部をフィット拡大表示します。

右クリック操作：

「オーバービュー」上のいずれかの位置での右クリック操作になります。

「全体表示」：元のサイズへ復帰します。

「マウスカーソル位置のフィット拡大」：カーソル位置をフィット拡大表示します。

「左端のフィット拡大」：最左端部をフィット拡大表示します。

「右端のフィット拡大」：最右端部をフィット拡大表示します。

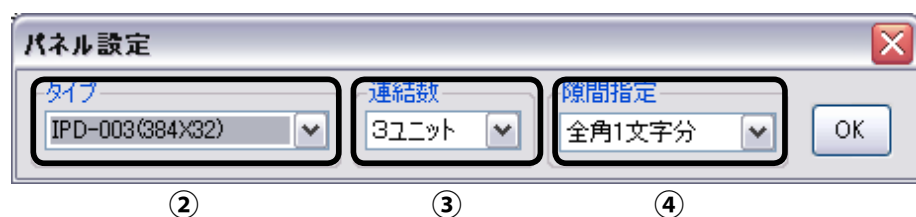
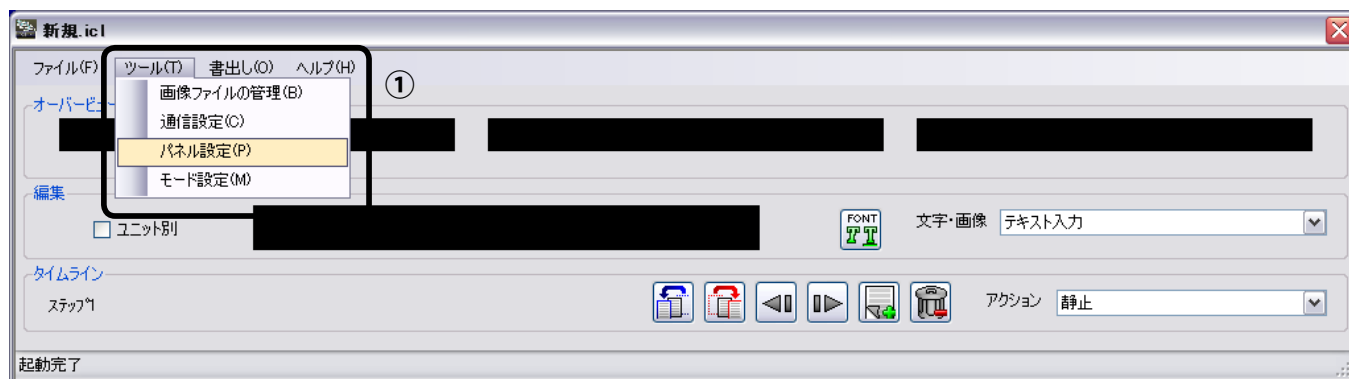
「再アクション」：アクションを再表示します。

表示ユニットデータの作成、編集

パネル設定（表示ユニットの連結数設定）、隙間設定

お買い上げいただいた製品の本機表示ユニット連結数をご確認ください。ご確認後、表示ユニット連結数を設定します。

①「ツール」→「パネル設定」を選択

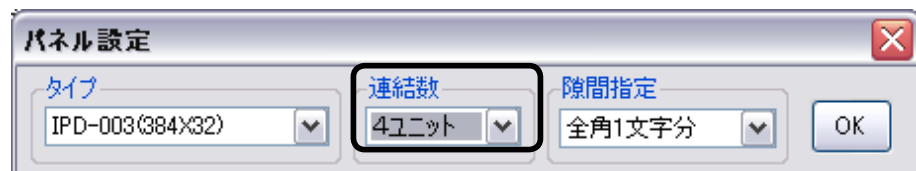


② IPD-003（384x32）を選択

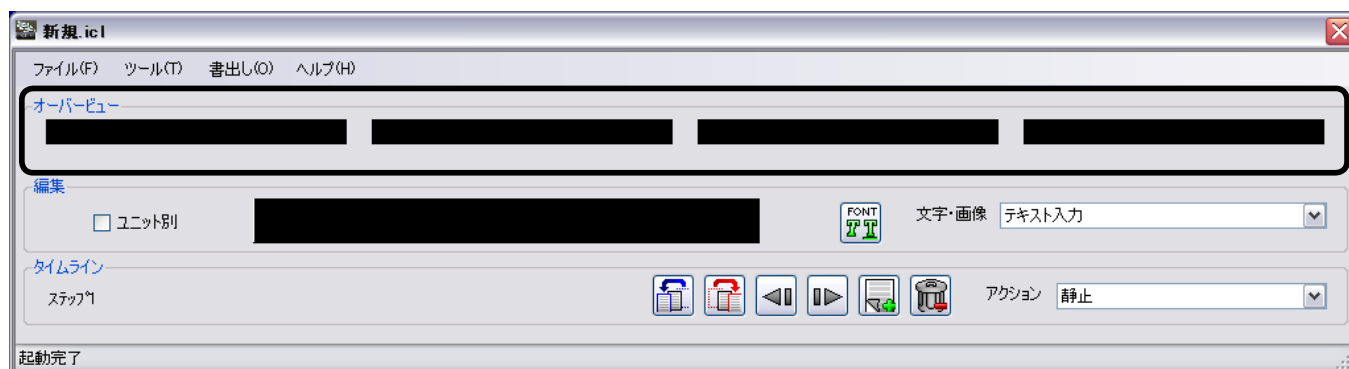
③ 表示ユニット連結数に合わせて「連結数」を設定

④ お好みで表示ユニット毎の隙間の設定を行えます。特に必要なければ「全角1文字分」を指定ください。

例：表示ユニット連結数を4ユニットに設定した場合



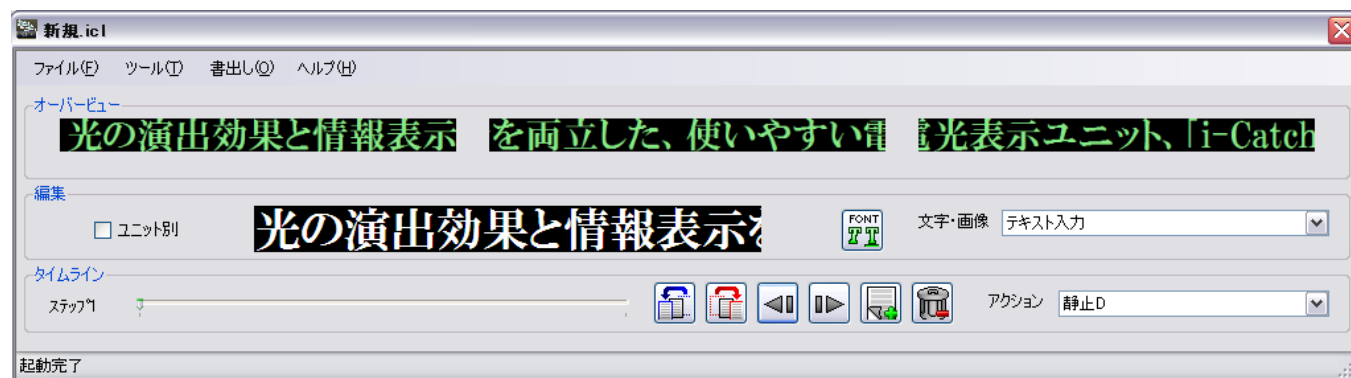
画面が4連結表示に変わります。



表示ユニットデータ編集モード指定 ～編集モード～

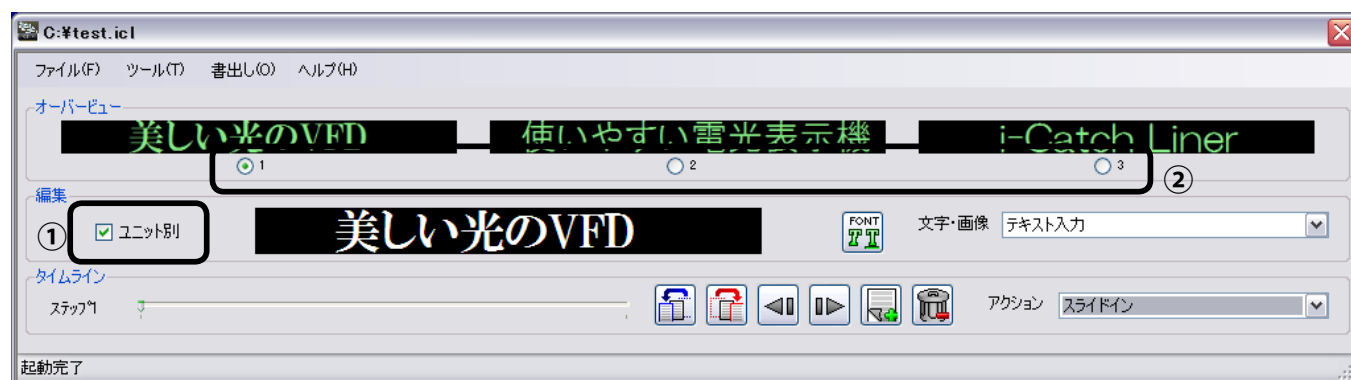
表示ユニットデータ編集方法として、2通りの方法があります。

①通常編集モード

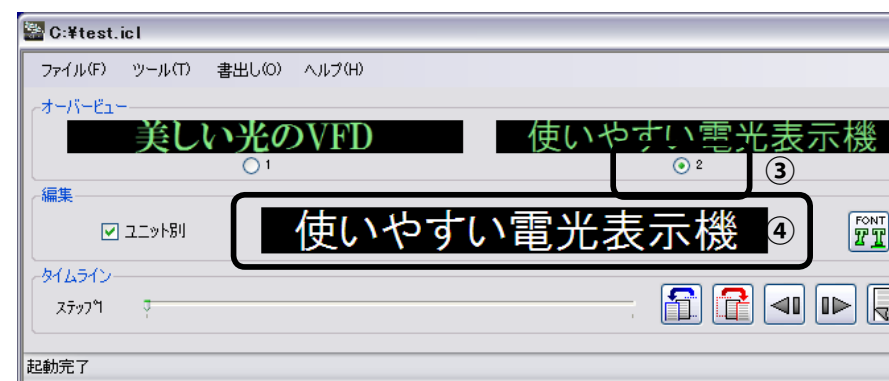


ICL Editor 初期起動時はデフォルトとしてこの入力方法となります。全ユニットを1パネルデータとして作成、編集を行います。「連台スクロール」アクションなどで**長文のメッセージ**を表示させる場合の表示ユニットデータ作成に適しています。

②表示ユニット別編集モード



各表示ユニット毎に、比較的**短文のメッセージ**を個々に違ったフォントサイズ、種類で表示させる場合の表示ユニットデータ作成に適しています。



表示ユニット別編集モードの使用方法

- ①「ユニット別」にチェックを入れる。
- ②ユニット毎に番号表示ボタンが表示されます。
- ③編集したいユニットの番号表示ボタンをクリックします。
- ④編集画面が指定した表示ユニットの表示に切り替わり、編集を行います。

ご注意 各種「連台スクロール」アクション選択時はこのモードでの編集はできません。

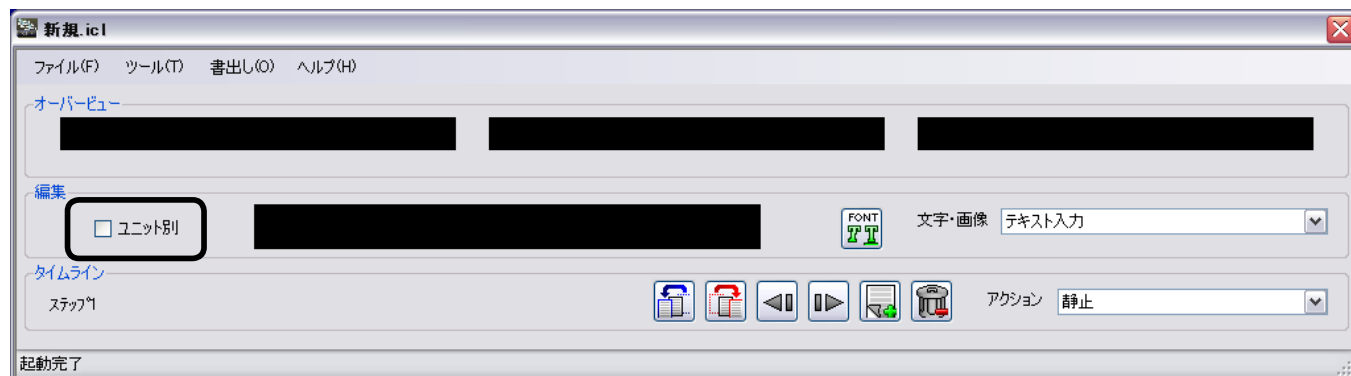
これら二つの編集モードで編集した表示ユニットデータを組み合わせることにより、演出効果の高い、表現力のある表示を作成することが出来ます。

表示ユニットデータの作成、編集

表示ユニットデータの作成、編集 ～データ入力～

表示ユニットデータの作成手順を説明します。

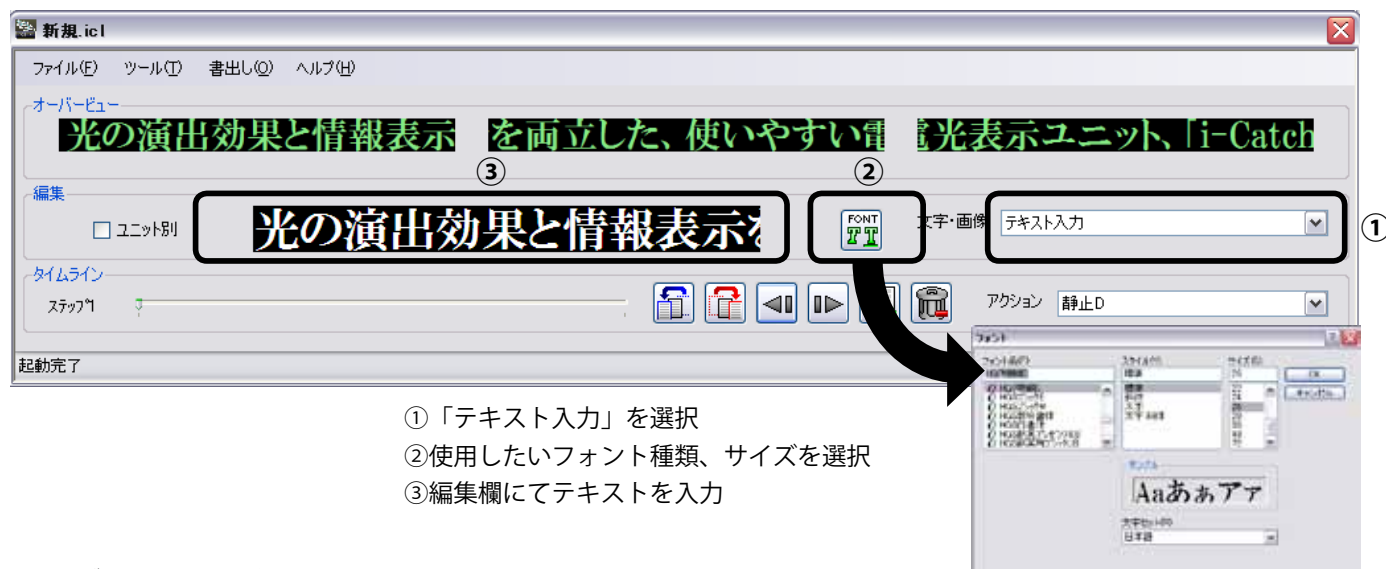
①編集モードの選択を行います。



ご注意 ここでは、通常編集モードを選択した場合として説明します。

②表示ユニットデータのを入力を行います。

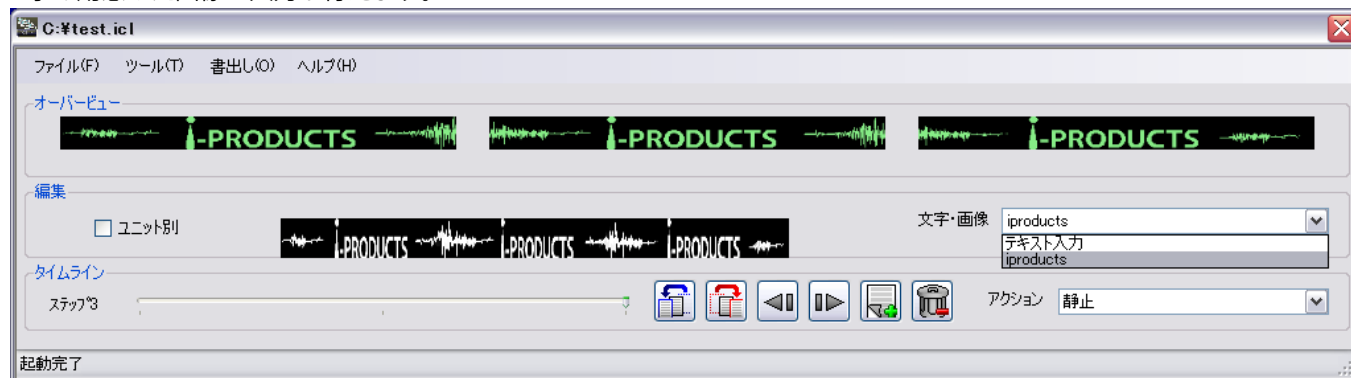
テキスト入力の場合



- ①「テキスト入力」を選択
- ②使用したいフォント種類、サイズを選択
- ③編集欄にてテキストを入力

画像データ入力の場合

予め用意した画像の入力が行えます。



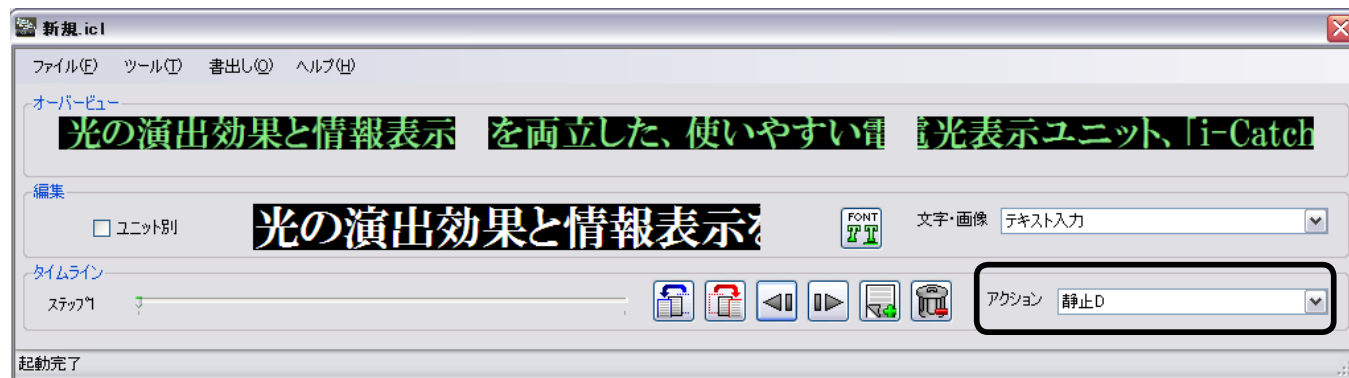
- ①予め保存した画像を選択
- ②画像が表示されます。
(1,152x32 ピクセルの画像を使用した例です。)

ビットイメージデータは予め作成し、登録しておく必要があります。15 ページの「画像データの作成方法例、iCL Editor への登録」を参照ください。

表示ユニットデータの作成、編集 ～アクションの選択～

表示ユニットデータの作成手順のつづきです。

③アクションの選択



アクションの選択により表示データに動きを加えることが出来、演出効果を加えることができます。

アクションの種類

入力した表示ユニットデータに付加するアクション

- | | |
|----------------|---|
| 静止： | 表示ユニットデータが静止した状態で表示されます。 |
| スライドイン： | 各表示ユニットにおいて、右側より表示がスライド表示されます。 |
| ワイプ： | 各表示ユニットにおいて、中央から湧き出し表示されます。 |
| ディゾルブ： | 各表示ユニットにおいて、ディゾルブ表示されます。 |
| フェードイン： | 各表示ユニットにおいて、フェードイン表示されます。 |
| 連台スクロール： | 右側 (←) または左側 (→) より連台スクロール表示されます。 |
| 連台押し出しスクロール： | 右側 (←) または左側 (→) より既存表示を押し出す形でスクロール表示されます。 |
| 逆さ連台スクロール： | 右側 (←) または左側 (→) より上下逆さでスクロール表示されます。 |
| 逆さ連台押し出しスクロール： | 右側 (←) または左側 (→) より既存表示を押し出す形で上下逆さでスクロール表示されます。 |
- (スクロール速度は3段階あります。)

直前の表示画面に付加するアクション（オーバービュー画面に「直前表示」と表示されます。）

- | | |
|----------|---|
| 点滅： | 直前の表示画面全体が点滅表示されます。 |
| 反転点滅： | 直前の表示画面全体が反転点滅されます。 |
| フラッシュ： | 直前の表示画面全体がフラッシュ表示します。 |
| カーテン： | 直前の表示画面全体がカーテン（幕引き）表示されます。
「ワイプ」アクションとの併用が効果的です。 |
| フェードアウト： | 直前の表示画面全体がフェードアウトされます。 |
| クリア： | 次のステップの表示前に表示を消したい場合などに使用します。 |
| ウェイト： | 一定時間、表示を止めたいときに使用します。停止時間は3段階あります。
主にステップ間の表示切り替え時に使用すると効果的です。 |

ご注意

- 各アクション名の後ろに「D」がついているものを選択しますと、各表示ユニットごとに一定時間ズレて各アクション表示が行われます。より高い演出効果を加えたい時にご使用ください。
- 「フラッシュ」アクションを選択しますと、高速で点滅表示します。健康障害を引き起こす可能性がありますので十分にご注意の上、ご使用願います。
- 「表示ユニット別編集モード」で編集した表示ユニットデータを「連台スクロール」アクションを指定して表示した場合、一番最初の表示ユニットデータの表示のみスクロール表示されますのでご注意ください。
- 「連台スクロール」アクションを指定した場合、「表示ユニット別編集モード」での編集はできません。
- 「連台スクロール」アクションで左方向に流れ消えていくようにするには、文章後に必要分スペースを入れてください。

表示ユニットデータの作成、編集

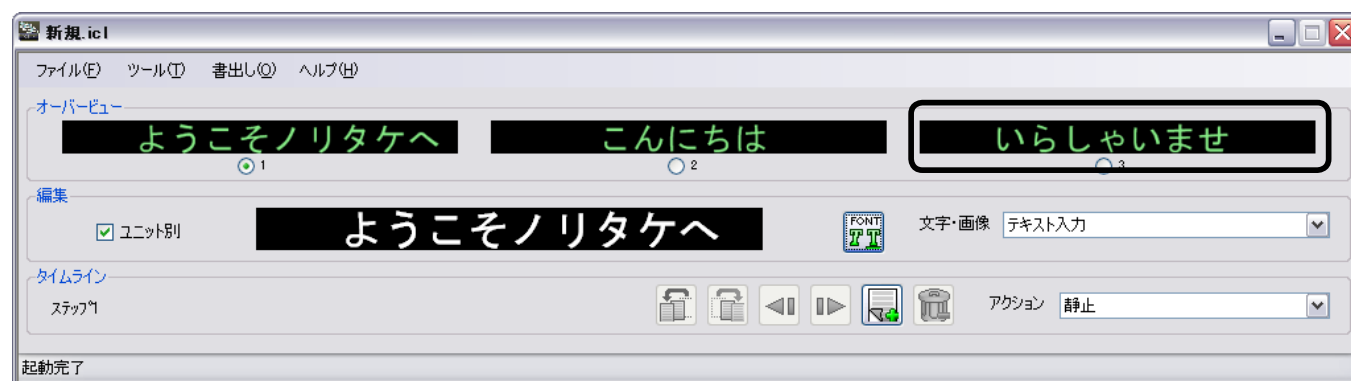
表示ユニットデータの作成、編集 ～マルチパネル通信モードで複数台同時登録する場合～

マルチパネル通信モードの場合、連結数の違う複数台の表示パネルを同時に登録することが可能です。この場合、表示ユニットデータ作成に以下注意が必要です。

- 同時に登録したい表示パネルの中で、連結数が一番多い表示パネルをベースに作成ください。
- ユニット別編集モードで作成された表示ユニットデータは左端から順に表示されます。連結数の少ない表示パネル上においては、すべての表示ユニットデータが表示されません。
- 連台スクロールアクションでのスクロール表示の場合、連結数の少ない表示パネル上においても、同じ時間、タイミングでスクロール表示されます。
- マルチパネル通信モードの場合、縦または横向きを認識（別途設定必要）し、横向きの場合は横文字、縦向きの場合は縦文字が自動的に表示されますので文字入力は横文字で作成ください。画像表示には影響しません。
19 ページの「マルチパネル通信モードによる表示ユニットデータの本機への登録」を参照ください。

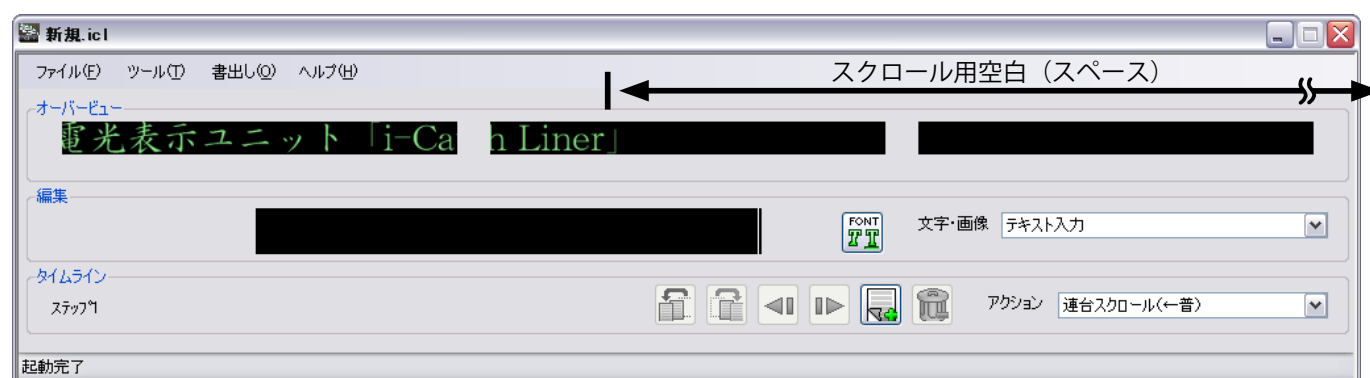
例：3 連結品と 2 連結品の表示パネルデータを同時に登録する場合

ユニット別編集モードにて表示パネルデータ作成



- 3 連結用として表示ユニットデータを作成します。
- 3 ユニット目の表示は、2 連結品では表示されません。

通常編集モードにて表示パネルデータ作成



- 3 連結用として表示ユニットデータを作成します。
- 連台スクロール表示用の空白（スペース）は、2 連結品でもそのまま処理されますので、空白の見える時間が長くなります。
- 空白（スペース）無しで 3 連結用の連台スクロール表示ユニットデータを作成した場合、2 連結品においては表示データの一部が表示されません。

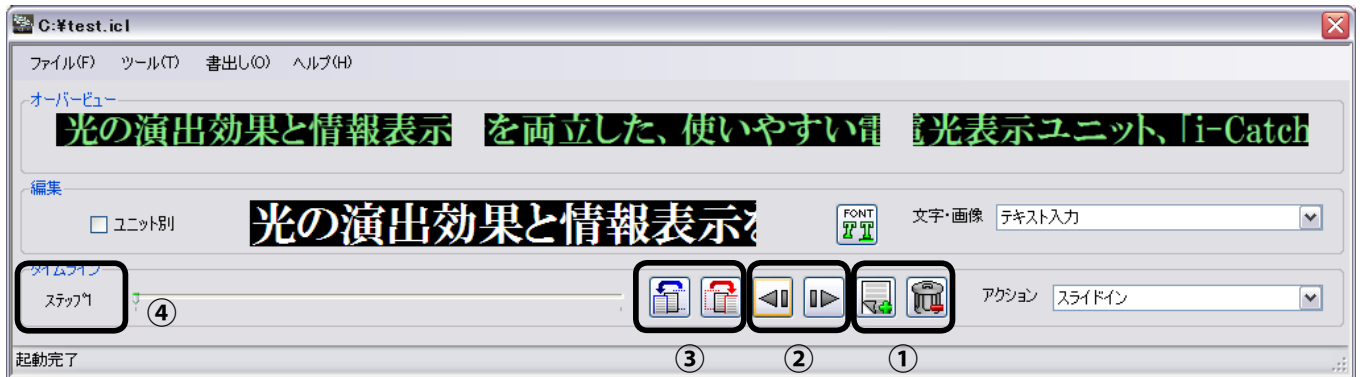
表示ユニットデータの作成、編集 ～追加・入替・削除～

表示ユニットデータの作成手順のつづきです。

④表示ユニットデータの追加、入替、削除

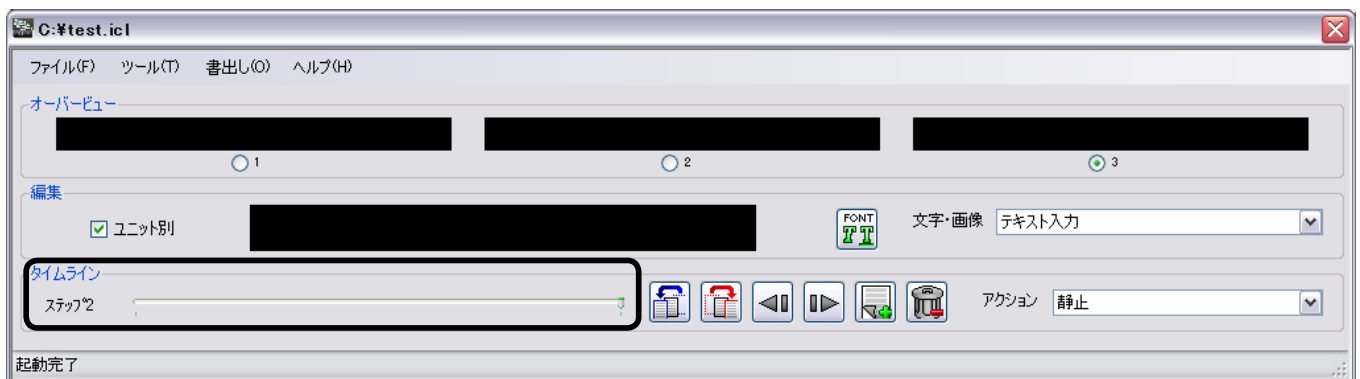
「表示ステップ」の追加、入替、削除が行えます。

- ①表示ステップの追加、削除ボタン
- ②表示ステップの移動ボタン
- ③表示ステップの入替ボタン
- ④表示ステップ番号



「表示ステップ」の追加

「表示ステップ」の追加ボタンにて追加を行うとブランクの表示ユニットデータ編集画面が表示されます。



「表示ステップ」が「ステップ2」と表示されることを確認ください。

「表示ステップ」の移動、入替

再編集したい表示ステップへの移動及び、表示ステップの前後入替ができます。



表示ユニットデータの作成、編集

表示ユニットデータの作成例

表示ユニットデータの作成例です。

文章の連台スクロール表示→文字のフェードイン表示→ワイプ表示

①ステップ1：連台スクロール表示

繰り返し表示



「光の演出効果と情報表示を両立した、使いやすい電光表示ユニット、「i-Catch Liner.」というメッセージが右から連台スクロール表示します。

ご注意 左方向に流れ消えていくようにするには、文章後に必要分スペースを入れてください。

②ステップ2：フェードイン



フェードイン表示

「美しい光のVFD電光表示機」、「彩る光、魅せる情報」、「幻想的な空間演出」というメッセージが各表示ユニットごとにフェードイン表示されます。

③ステップ3：ウェイト



ステップ2のフェードイン表示後、一定時間静止表示させる為、ウェイトをステップ3で入れます。

④ステップ4：ワイプ



ワイプ表示

画像が各表示ユニットごとに中央からワイプ表示されます。

⑤ステップ5：ウェイト

③ステップ3と同様に、ウェイトを入れ、ワイプ後の表示を一定時間静止表示させます。

画像データの作成方法例、iCL Editor への登録

画像データ (BMP データ) の作成方法例

画像データの作成は描画ツールを利用して作成します。
ここでは一般的な「ペイント」ツールを利用した場合で説明します。



- ①画像データは縦 32 ピクセル、横は 384 ピクセルの倍数で設定。
- ②色は白黒
- ③単位はピクセル
- ④光る部分は白、光らない部分は黒で作成ください。(黒色で光る部分を作成し、最後に「色の反転」で反転)
- ⑤画像データ作成後、モノクロビットマップデータとして任意のフォルダーに保存。

ご注意 表示パネルのピクセル形状縦横比の違いにより、作成したイメージは縦長に表示されます。同等のイメージで表示したい場合は縦横比 (約 1.3 : 1) で作成ください。

画像データ (BMP データ) の iCL Editor への登録

作成して保存した画像データ (BMP データ) を iCL Editor に登録します。



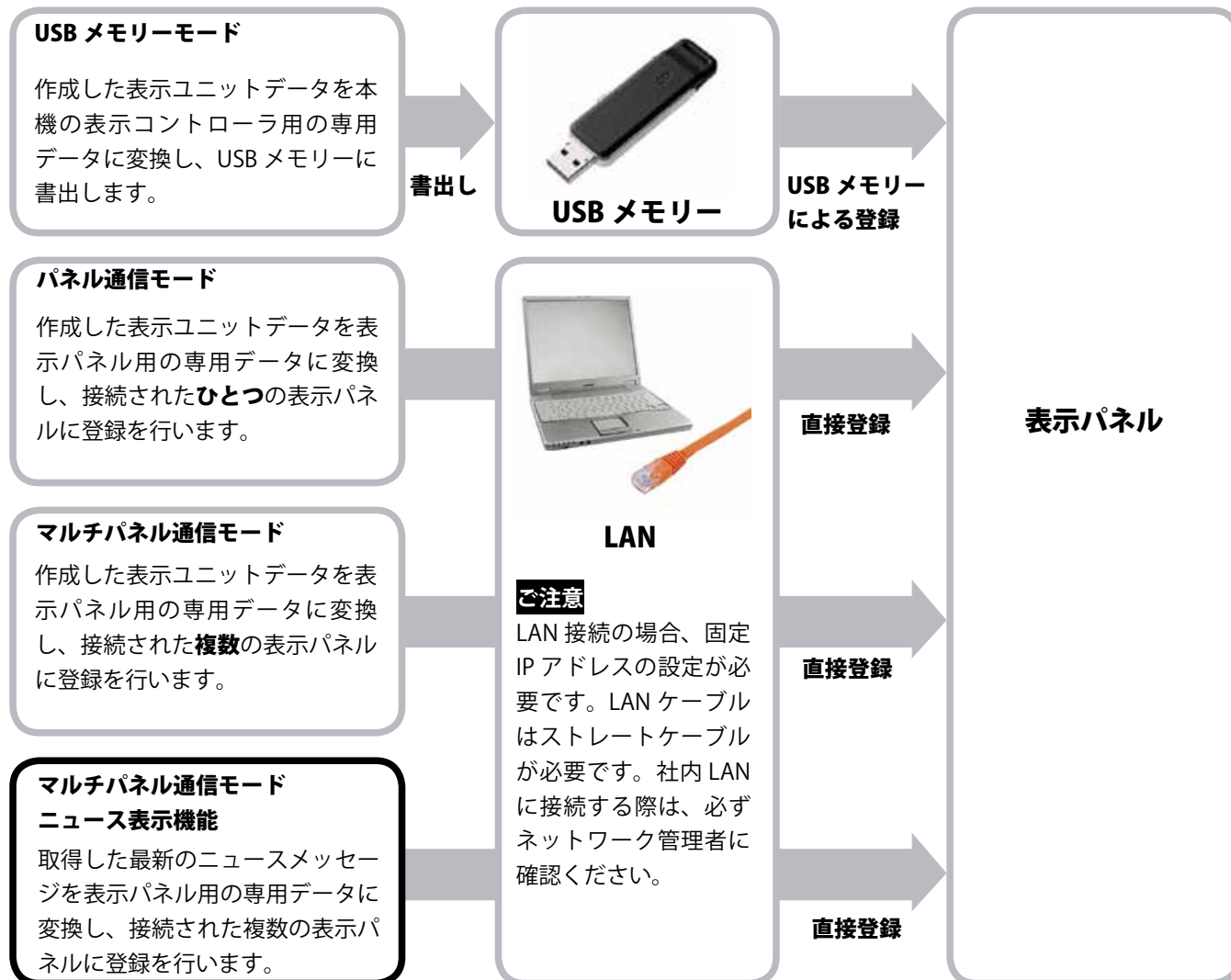
- ①「ツール」→「画像ファイルの管理」を選択
- ②「bmpfiles」というフォルダーが開いてきますので、そこに作成した画像データ (BMP データ) を移動してください。
- ③ iCL Editor を再起動または、「文字・画像」を選択しリターンキーを押してください。これにより登録が完了され、下記の通り、画像が選択、表示可能となります。



表示ユニットデータの書出し、本機への登録

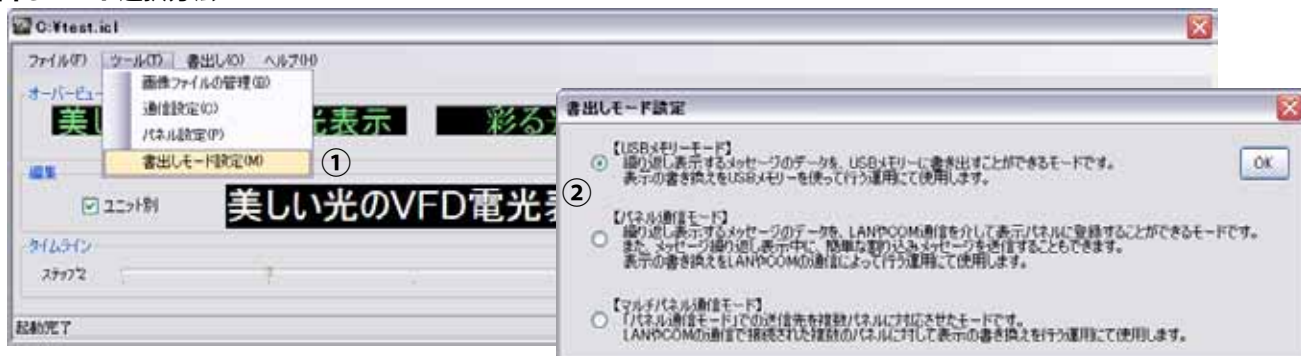
表示ユニットデータの書出しモード選択

表示ユニットデータ作成後、本機へデータの登録「書出し」を行います。
表示ユニットデータの本機への書出しの方法として以下の方法があります。



ご注意 ニュース表示機能については、22 ページの「ニュース表示機能設定、本機への登録」参照ください。

書出しモード選択方法



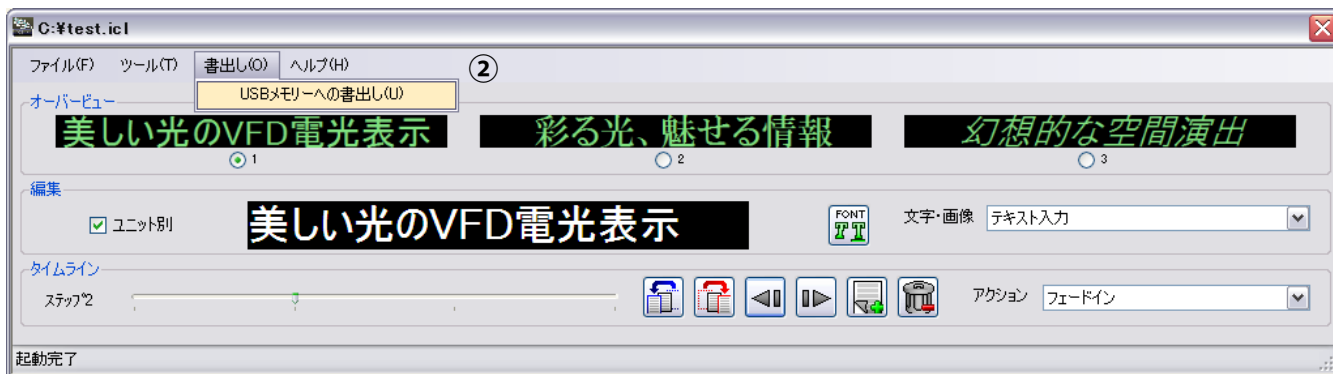
①「ツール」→「書出しモード設定」

②お買い上げいただいた製品の仕様、形式、設置形態を確認の上、書出し設定画面にて、「USB メモリーモード」、「パネル通信モード」または「マルチパネル通信モード」いずれかを選択してください。

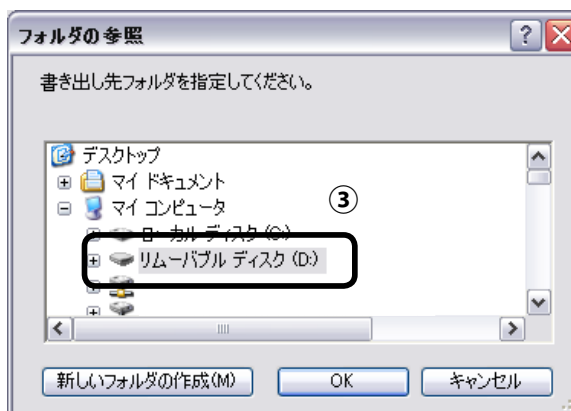
USB メモリーモードによる表示ユニットデータの本機への登録

書出しモード設定で「USB メモリーモード」を選択後、登録までの手順を説明します。

- ① USB メモリーをパソコンの USB 端子へ挿入します。
- ② 「書出し」→「USB メモリーへの書出し」を選択します。



- ③ USB メモリーが自動的に選択されますので、OK をクリックします。



- ④ USB メモリーへの書出しが開始されます。「成功」が表示されたら、OK をクリックし USB メモリーを取り外します。



- ⑤ 書出したデータの入った USB メモリーを本機 USB メモリー端子に挿入しますと、自動的に表示ユニットデータの登録が始まります。

ご注意 本機へ登録中は絶対に USB メモリを抜かないでください。登録する表示ユニットデータ次第では、登録時間が長くなる場合もあります。

- ⑥ 登録が完了すると、本機上に「OK」と表示され、その後自動的に表示スタートとなります。表示スタート後は USB メモリーを抜いてもかまいません。

表示ユニットデータの書出し、本機への登録

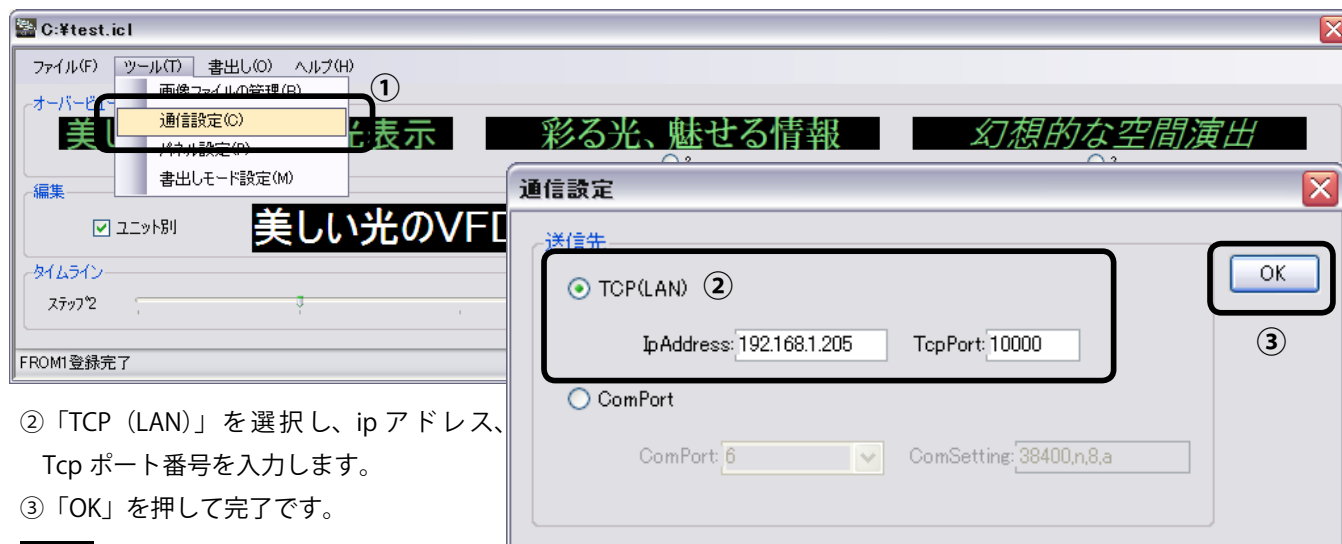
パネル通信モードによる表示ユニットデータの本機への登録

パネル通信モード、通信設定

書出しモード設定で「パネル通信モード」を選択後、登録までの手順を説明します。

ご注意 事前に LAN の設定が必要です。24 ページの「LAN の設定 ～固定 IP アドレス設定～」を参照ください。

① 「ツール」→「通信設定」を選択しますと次のような画面が表示されます。



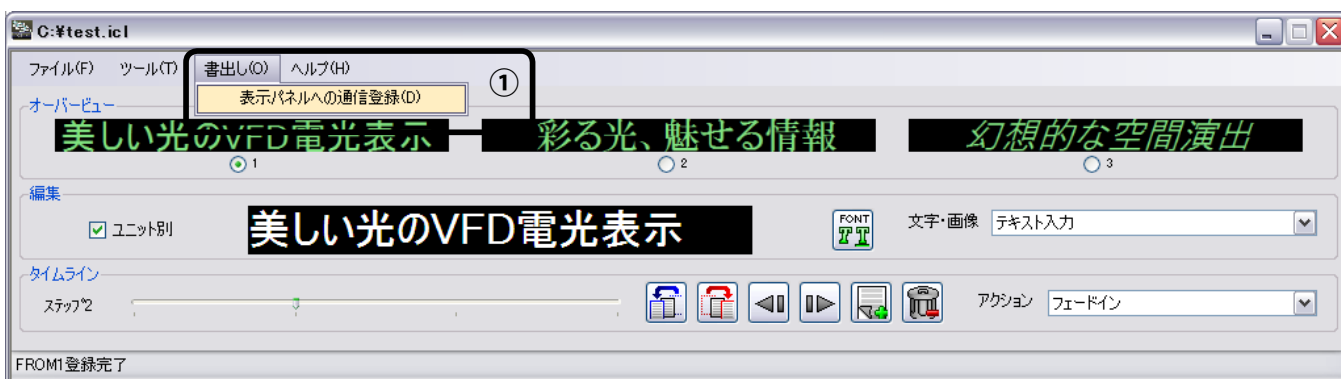
② 「TCP (LAN)」を選択し、ip アドレス、Tcp ポート番号を入力します。

③ 「OK」を押して完了です。

ご注意

ComPort はこの製品では使用しませんので選択しないでください。

表示ユニットデータの登録



① 「書出し」→「表示パネルへの通信登録」を選択しますと右図のような画面が表示されます。

② 「送信」をクリックしますと、表示パネルへの登録が始まります。

③ 登録が完了すると、表示パネル上に「OK」と表示され、その後自動的に表示スタートとなります。

ご注意 表示パネルへ登録中は絶対に LAN ケーブルを抜かないでください。登録する表示ユニットデータ次第では、登録時間が長くなる場合もあります。

マルチパネル通信モードによる表示ユニットデータの本機への登録

マルチパネル通信モード、通信設定

書出しモード設定で「マルチパネル通信モード」を選択後、登録までの手順を説明します。

ご注意 事前に LAN の設定が必要です。24 ページの「LAN の設定 ～固定 IP アドレス設定～」を参照ください。

- ・マルチパネル通信モードは表示パネルを複数台接続し、それぞれ個別に登録または複数の表示パネルに同時に登録したい場合に使用します。接続された複数台の表示パネルを個々に登録する機能「個別送信」及び、いくつかをグループ化して登録する機能「グループ送信」の2種類の登録方法があります。
- ・複数台同時に登録する場合、設定内容を認識し自動的に縦文字または、横文字表示します。また、各表示パネルの連結数に関係なく、同じ表示ユニットデータの登録を行えますが、登録したい各表示パネルで支障なく表示できる表示ユニットデータの作成が必要です。12 ページの「表示ユニットデータの作成、編集 ～マルチパネル通信モードで複数台同時登録する場合～」参照
- ・ニュース表示機能については、22 ページの「ニュース表示機能設定、本機への登録」を参照ください。

①「ツール」→「通信設定」を選択しますと次のような画面が表示されます。



②接続された表示パネルに固有の名前を付加できます。個別送信時の送信先の名前として登録します。

③ユニット数、表示の向き、I/F、IP アドレス、Tcp ポートの設定を行います。

ユニット数：連結数を入力

向き：縦表示の場合は V、横表示の場合は H

IpAdd/COM：IP アドレスの入力

TcpPort/Setting：Tcp ポートを入力

ご注意 ComPort はこの製品では使用しません。

④グループ登録したい表示パネルのグループ設定を行います。

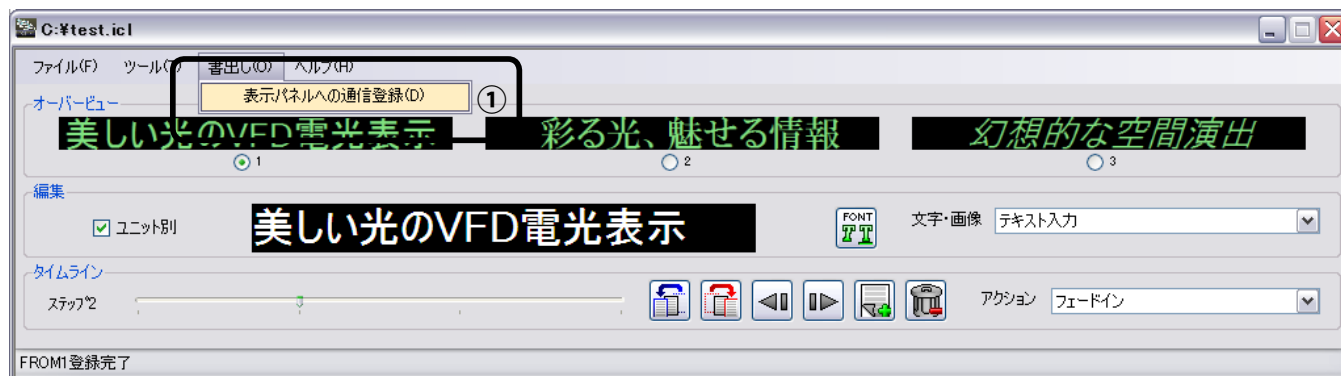
⑤グループごとに固有の名前を付加できます。グループ送信時の送信先の名前として登録します。

⑥「OK」をクリックして設定完了です。

表示ユニットデータの書出し、本機への登録

マルチパネル通信モードによる表示ユニットデータの本機への登録 ～続き～

表示ユニットデータの登録



①「書出し」→「表示パネルへの通信登録」を選択します。



②通信設定時に設定した固有の名前のボタンが配置された画面が表示され、登録したい表示パネルのボタンをクリックすることにより、表示パネルへの登録が開始されます。複数台同時登録する場合、順番に登録されます。

③登録が完了すると、表示パネル上に「OK」と表示され、その後自動的に表示スタートとなります。

スリープ機能



登録後の表示パネルをスリープさせることができます。スリープ中は表示が消え、低消費電力モードとしてお使いいただけます。

ご注意 表示パネルへ登録中は絶対にLAN ケーブルを抜かないでください。登録する表示ユニットデータ次第では、登録時間が長くなる場合もあります。
同時に登録する場合、登録する表示パネルの数によって登録完了までの時間が変わります。

ニュース表示機能設定、本機への登録

ニュース表示機能について

作成・編集した表示ユニットデータの表示以外に、RSS にてニュース表示データを自動的に取得し、そのニュース表示データを本機に登録し、スクロール表示させることができる機能です。この機能は、iCL Editor のマルチパネル通信モード上で動作し、インターネットに接続されたパソコン上に常駐させることにより機能します。

ニュース表示機能の設定には 2 通りの方法があります。

①お客様独自のニュース配信を利用する場合

お客様独自の RSS フィーダーの URL を直接入力して利用する方法になります。

著作権を有する情報は配信元の許諾、契約が必要です。

②当社指定の配信会社のニュース配信を利用する場合

当社指定の配信会社とニュース配信契約いただくと、専用の URL を配布します。その URL を入力して利用する方法となります。

ご注意

- ・ iCL Editor を「RSS+」モードで起動してご使用いただく必要があります。5 ページの「アプリケーションソフト「iCL Editor」起動方法 通常モード・RSS+ モード選択」参照ください。
- ・ iCL Editor を常駐させるパソコンは常にインターネットに接続されている必要があります。
- ・ 本機へのニュース表示データ登録もマルチパネル通信モードのみでの対応となります。
- ・ ニュース表示データの本機への登録の際、通常の表示ユニットデータ登録と同様、登録中は全消灯します。

ニュース表示機能（RSS フィーダー）設定

ニュース表示機能（RSS フィーダー）の設定を行います。

- ①書出しモード設定で「マルチパネル通信モード」を選択。9 ページの「表示ユニットデータ編集モード指定 ～編集モード～」参照
- ②「ツール」→「RSS 設定」→「フィーダー登録」を選択しますと、フィーダー登録画面が表示されます。



③任意のタイトルを入力します。

④任意の RSS フィーダーの URL または配信会社より配布された URL を入力します。

⑤各種設定を行います。

抽出タグ：「Title」表題または「Description」要約文どちらを表示させるか選択します。

本数：RSS メッセージの表示本数（最新メッセージから過去何本まで）を入力します。

RG1~RG5：登録した各 RSS フィードの組み合わせ表示設定を行います。組み合わせは 5 通り設定可能です。

⑥スクロール形態、速度設定を行います。

⑦表示するフォントタイプ、サイズを設定します。

⑧フォント種類、サイズによってニュース表示終端がスクロールされず数文字残ってしまう場合に調整を行います。

⑨ RSS フィーダーの更新確認の間隔を設定します。⑩全フィードをクリアします。

⑪ニュース内容の取得確認を行います。

⑫ニュース内容が表示ユニットに表示されるかどうかを確認できます。

⑬ニュースの更新監視の時間帯を設定します。

⑭「OK」をクリックして登録完了です。

表示ユニットデータ+ニュース表示機能

ニュース表示のスクロール表示のみでなく、任意で作成・編集した表示ユニットデータと交互に表示させることができます。この時に使用する表示ユニットデータの作成・編集方法は以下の通りです。

- ①表示ユニットデータの作成・編集を行います。方法は5ページの「表示ユニットデータの作成、編集」を参照ください。
- ②ニュース表示と一緒に表示させる専用の表示ユニットデータとして登録を行います。「ツール」→「RSS 設定」→「固定メッセージ登録」を選択します。



- ③ニュース表示専用表示ユニットデータとしてパソコン内部に保存されます。保存されたデータは、ニュース表示データの本機登録時に自動で一緒に登録されます。
- ④編集したい場合は、「ツール」→「RSS 設定」→「固定メッセージ読出し」を選択しますとニュース表示専用ユニットデータを読出しますので、それを編集後、③と同様の動作で再登録を行います。

ご注意

- ・ニュース表示のみさせたい場合は、作成する必要はありません。
- ・すでに作成済みの表示ユニットデータを編集し、ニュース表示専用表示ユニットデータとして登録も可能です。

ニュース表示設定、表示開始

ニュース表示させたい表示パネルの選択を行い、表示を開始します。「マルチパネル通信モード」の「通信設定」画面にて行います。

- ①通信設定を行います。通信設定については19ページの「マルチパネル通信モードによる表示ユニットデータの本機への登録」を参照いただき設定ください。



- ②「通信設定」画面の「RSS」にて予め組み合わせ表示設定されたRG1~RG5のどれかを選択します。ニュース表示選択された表示パネルへは任意で作成・編集した表示ユニットデータの登録が行えなくなります。

- ③画面右上の「最小化」をクリックすることにより、常駐モードに移行し、移行と同時に登録したニュース(RSS フィーダー)の最新メッセージの取得→表示パネルへの登録→表示開始となります。



- ④常駐モード移行後は、タスクトレイに常駐アイコンが表示され、「監視の間隔」にて設定された間隔で最新ニュースの監視を行います。常駐アイコンをクリックすることにより通常編集モードに戻ります。

③ 常駐アイコン説明

- ニュース更新データ取得中
- ニュース表示データを表示パネルに登録中
- ニュース更新監視中

LAN の設定

LAN の設定 ～固定 IP アドレス設定～

表示パネルの LAN 設定

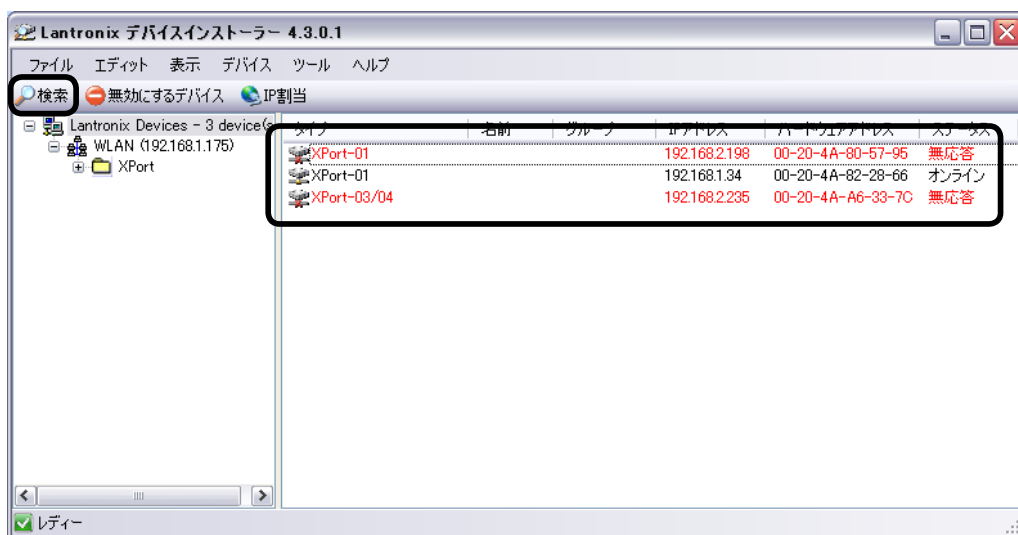
LAN による通信モードを使用して、表示ユニットデータの本機への登録を行う場合、本機の LAN 設定（固定 IP アドレス、RS-232 及び、TCP ポートの設定）が必要です。

本機の表示コントローラには LANTRONIX® 社製の XPort® が使用されております。LAN の設定には LANTRONIX® 社より配布されております、「DeviceInstaller™」を使って設定してください。

- ご注意**
- ・ LAN ケーブルはパソコンと直接接続する場合はクロスケーブル、HUB 等と接続する場合はストレートケーブルを使用してください。またカテゴリ 5 以上のケーブルを使用してください。
 - ・ DHCP による IP アドレス自動割当には対応しておりません。
 - ・ 表示パネルごとにパソコンと LAN で接続し、IP アドレス変更をした後に、ネットワーク上に接続してください。
 - ・ ネットワークに表示パネルを接続後、同一ネットワーク上にあるパソコンから ping などの接続確認で表示パネルの接続を確認したうえで、設置するようにしてください。
 - ・ 表示パネルの IP アドレス・サブネットマスク・ゲートウェイの設定の際には、接続するネットワークの管理者と必ず相談のうえ、ネットワークにつながっているほかの機器の IP アドレスと同じにならないよう、的確な IP アドレスを設定するようにしてください。誤った内容を設定した際、表示器を認識できなかったり、接続したネットワークに障害をもたらす恐れがあります。
 - ・ ネットワーク障害などが起こった場合において、弊社では保証いたしません。お客様の責任においておこなうようにしてください。

「DeviceInstaller™」による設定方法 ～固定 IP アドレスの設定～

- ① インストールした DeviceInstaller™ を起動
- ② 「検索」ボタンをクリックすると、同じネットワーク上に接続されている XPort® が検出されます。



- ご注意** 出荷時設定は、DHCP サーバから IP アドレスやサブネット・マスク、デフォルト・ゲートウェイを自動取得するようになっています。

LAN の設定 ～固定 IP アドレス設定 続き～

「DeviceInstaller™」による設定方法 ～固定 IP アドレスの設定、続き～

③設定したい XPort® を選択し「IP 割当」ボタンをクリックしますと、「IP アドレスの割当」画面が表示されます。

④「特定 IP アドレス割当」にチェックを入れ、「次へ>」

をクリックします。



⑤各項目を入力します。入力後「次へ>」をクリックします。



⑥問題なければ「割当」を押し設定します。

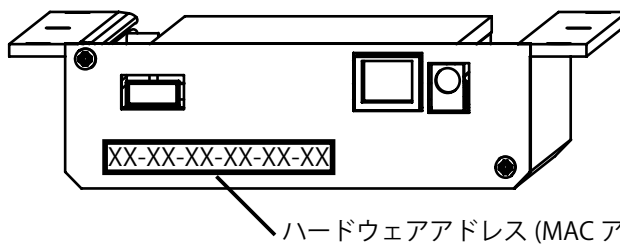


⑦「完了」を押しして終了します。



ご注意

DHCP の無い環境でお使いの方は、「検索」ボタンで検索できません。XPort® の選択無しで「IP 割当」の画面から直接ハードウェアアドレス (MAC) と IP アドレスを入力することで設定できます。(ハードウェアアドレスは XPort® 本体上面のラベル及び、マスターユニットのキャップ上に記載されている 2 桁の英数字 6 個で構成されているアドレスです。)



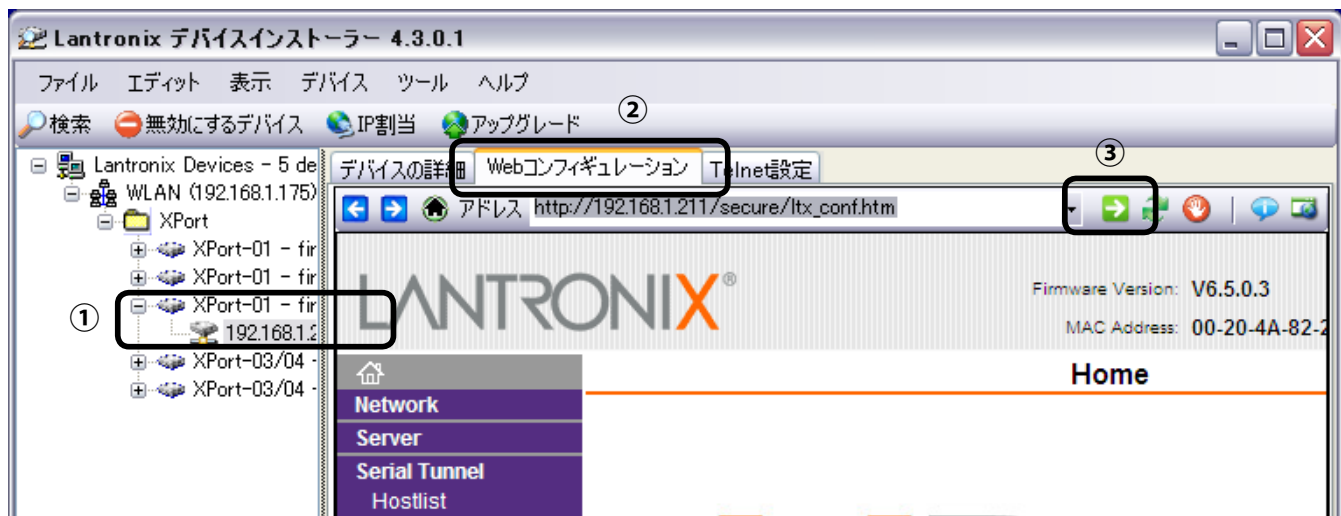
ハードウェアアドレス (MAC アドレス)

ハードウェアアドレスを入力して「次へ>」をクリックしますと IP アドレス等入力画面に移り、その後は同様の操作にて設定します。

LAN の設定

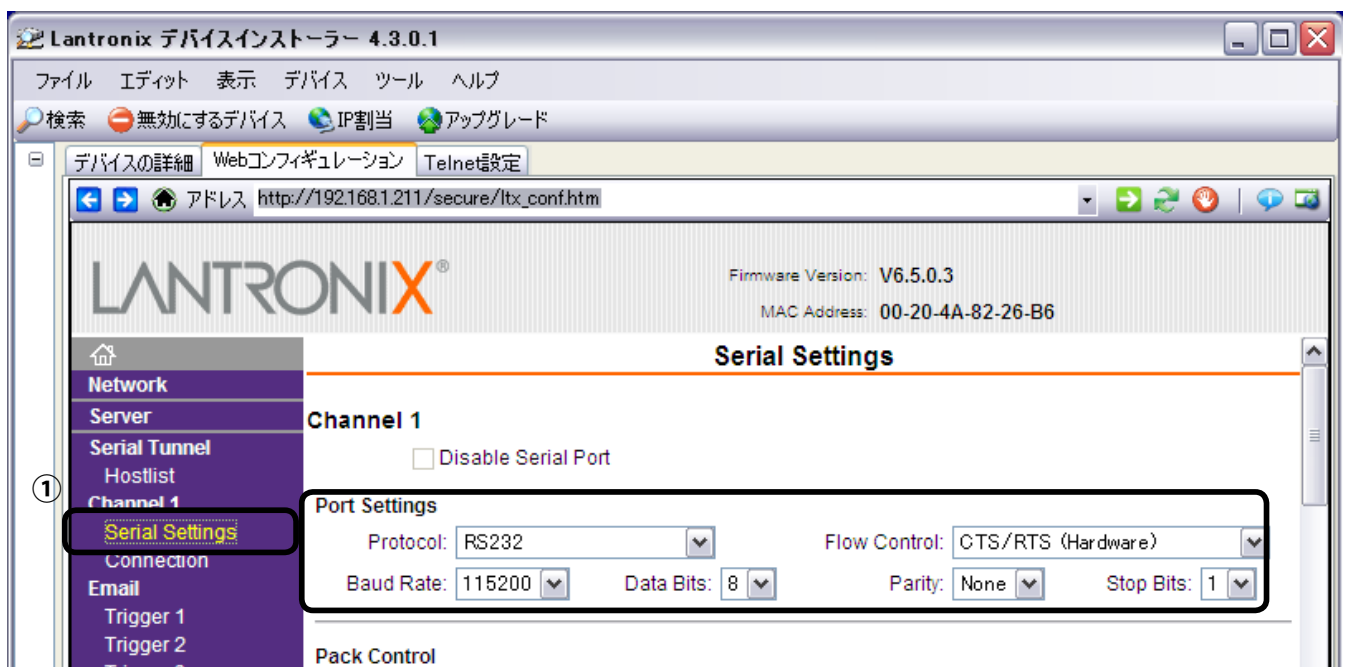
LAN の設定 ～ RS-232 ポート設定～

「DeviceInstaller™」による設定方法 ～ RS-232、TCP ポートの設定～



- ① 「DeviceInstaller™」上の設定したい XPort® を選択します。
- ② 「Web コンフィギュレーション」ボタンをクリックします。
- ③ 「ナビゲート」ボタンをクリックしますと、ユーザー、パスワード入力画面が表示されます。ブランクのまま「OK」をクリックしてください。(必要に応じて、ユーザー、パスワードは後ほど設定ください。)
- ④ Web コンフィギュレーション画面が表示されます。

RS-232 ポートの設定

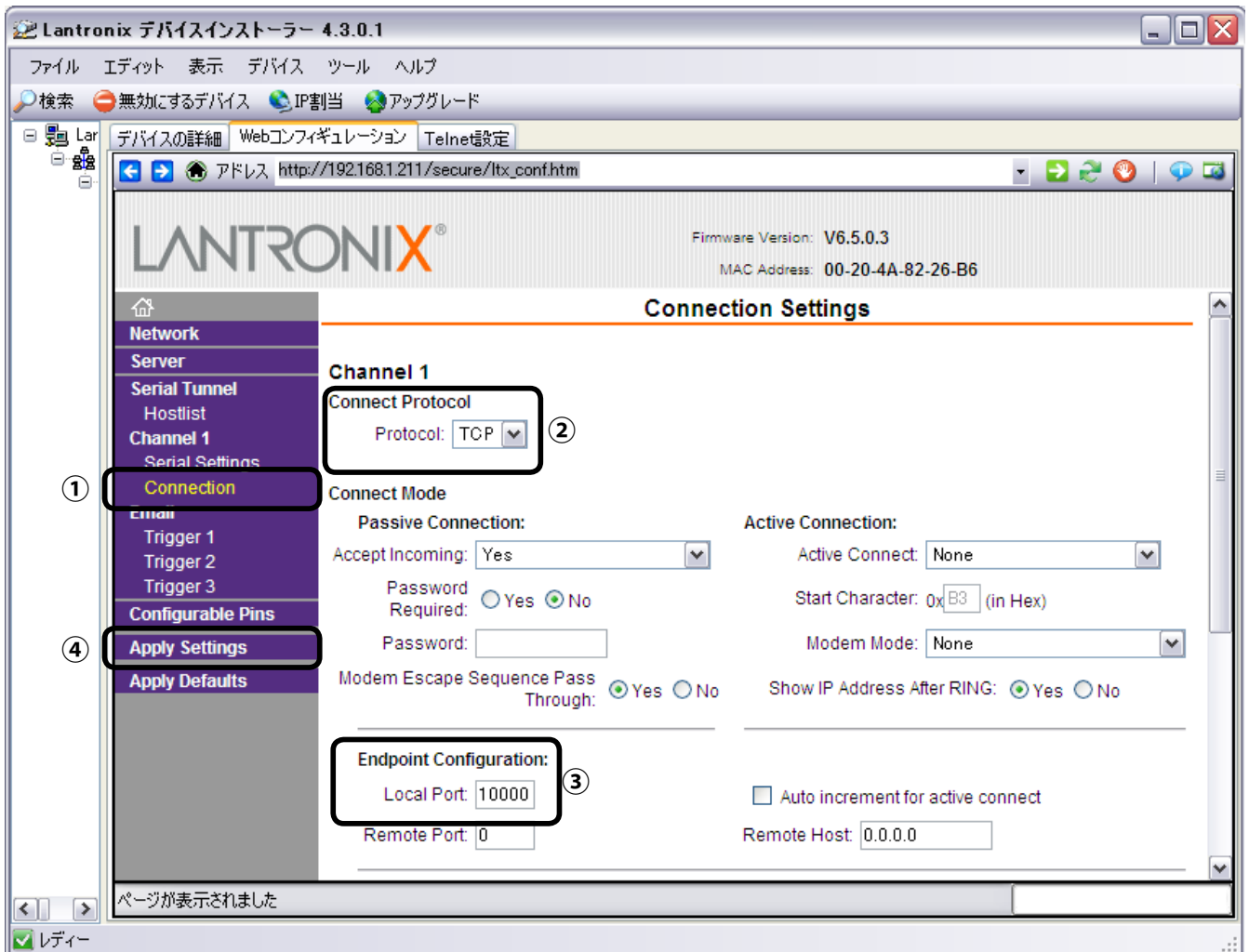


- ① 「Serial Setting」を選択
- ② 「Port Setting」にて RS-232 設定を行います。下記の通り入力ください。
Protocol: **RS232** Flow Control: **CTS/RTS (Hardware)**
Baud Rate: **115200** Data Bits: **8** Parity: **None** Stop Bits: **1**
- ③ 入力後、最下部の「OK」を押した後、「Apply Setting」をクリックしますと、書換えが開始され、設定完了となります。次に TCP ポートの設定に移ります。

LAN の設定 ～ TCP ポート設定～

「DeviceInstaller™」による設定方法 ～ RS-232、TCP ポートの設定 続き～

TCP ポートの設定



- ① 「Connection」を選択
- ② 「Connect Protocol」で「TCP」を選択
- ③ 「Local Port」に任意のポート番号を入力
- ④ 入力後、最下部の「OK」を押した後、「Apply Setting」をクリックしますと、書換えが開始され、設定完了となります。

以上の設定により、LAN 設定は完了です。

お問い合わせ先

修理・使い方などのご相談・ご依頼、及び万が一、製品による事故が発生した場合は、ご購入の販売店、または下記までお問い合わせください。

●設定、取扱説明書に関するお問い合わせ先

☎0596-39-1119

(受付時間：平日 10:00 ～ 17:00)

Eメール： ipd@noritake-itron.jp

お電話の前に、以下の内容をご用意ください。

- ・品名：i-Catch Liner
- ・形名：IPD-003-XXL
- ・シリアルナンバー
- ・お買いあげ日（年月日）
- ・故障の状況（できるだけ具体的に）
- ・ご住所
- ・お名前
- ・電話番号
- ・Eメールアドレス

●故障、製品に関するお問い合わせ先

販売元：株式会社ノリタケカンパニーリミテド

製造元・営業代行：ノリタケ伊勢電子株式会社

●営業部 販売 G 名古屋

〒451-8501 名古屋市西区則武新町3丁目1-36

TEL:052-561-9741 FAX:052-561-9780 (受付時間：平日 10:00 ～ 17:00)

●営業部 販売 G 東京

〒107-8413 東京都港区赤坂7丁目8番5号

TEL:03-3588-1536 FAX:03-3588-1528 (受付時間：平日 10:00 ～ 17:00)

●営業部 企画営業 G

〒516-1192 三重県伊勢市上野町字和田700

TEL:0596-39-1119 FAX:0596-39-1220 (受付時間：平日 10:00 ～ 17:00)

●ホームページ： <http://www.i-products.jp/>

●Eメール： ipd@noritake-itron.jp

※Eメール、FAXは随時受け付けております。

i-Catch Liner 操作マニュアル

●初版発行日：2012年7月

●第二版発行日：2012年11月

DS-1651-0801-01